

20-1 (10-3とはほぼ逆に) 配列をCSVに変換する script を作成してみます。

例えば資料 47 の上の状態の入力を下の状態の出力にすればOKですから、以下の諸段階を実行する script もその「一案」です：

- ①入力を改行で分割する。
- ②全ての null を""で置き換える。
- ③第2～最終行を(で分割する。
- ④行末の)を改行に置き換える。
- ⑤第2要素のみ結合して出力する。

```
<title>配列のCSV化</title><!-- saved from url=(0008)about:internet -->
<form>
  <textarea rows="8" cols="64"></textarea><br>
  1. 配列を paste→2. <input type="button" value="OK" onClick="OK()">を click
</form>
<script>
  例=例' v=new Array() %nv[0]=new Array("連番","性別","学年","設問1","設問2","
  例=例'"設問3") %nv[1]=new Array(1,1,1,1,2,3) %nv[2]=new Array(2,1,2,2,3,4)'
  例=例' %nv[3]=new Array(3,null,3,3,4,5) %nv[4]=new Array(4,2,4,4,5,null) %n'
  document. forms[0]. elements[0]. value=例+ ' v[5]=new Array(5,2,1,null,1,null)'
  function OK() {出=""
  行=document. forms[0]. elements[0]. value. replace(/%r%n|%/g, "%n"). split("%n")
  for(i in 行) {if(0==i) continue
  素=行[i]. replace(/null/g, ""). split("("); 出=出+素[1]. replace(")","%n")}
  document. forms[0]. elements[0]. value=出
}
</script>
```

資料 46 配列を CSVに変換する JavaScript の例

20-2 Script としては・・

①は (%r%n や %r を %n にして) split("%n")、②は replace(/null/g,"")、
 ③は if(0==i)continue による第1行 skip と split("(")、
 ④は replace(")","%n")※、そして⑤は 出=出+素[1] と forms[0].elements[0].value=出です。
 ※半角(で split し半角を"%n"に replace)します。従って、変数名にカッコが必要なら全角.().や[]などを使用しましょう。

20-3 資料 46 を実行すると資料 47 の上の入力が・・

下の出力になります (従って、split で作成された配列要素の添え字は0から)。なお、入力が例えば"性別(1:男-2:女)"の場合、正しい出力が得られません。その理由は「処理に用いる要素である半角の(と)が変数名に使用されているからです。

※性別(1:男-2:女)だとNG vs. 性別[1:男-2:女]にすればOK。



資料 47 資料 46 の起動時及び[OK]クリック後の状態

20-4 有益性※を備えた script などができる・・

↑※「役に立つ場面があるかも・・」程度でも十分。

ぜひネット上に公開しておきましょう。掲示板やブログでもOKですが、無料レンタルサーバーを活用すれば自分の思い通りのサイトとしての公開が可能です※。
 ※現在使用中の「無料レンタルサーバー」は Xdomain です。キーワード xdomain で検索してください。
 なお、link を含む html はワープロソフトで作成できます。

お世話になった方の立派な業績を、より広くより永く公開する「お手伝い」ができるかもしれません。

【発展課題】

csv ファイルの列×行を行×列に入れ替える script を作成してみましょう。

ちなみに[発]から link された script 例 (<http://mmua.html.xdomain.jp/kato/semi/20-2.htm>) では、入力された csv を split で2次元配列化した上で文字列として出力する過程で「行末の一文字削除」のために slice(開始位置,終了位置)※を用いています。

※例：出=出.slice(0,-1)で末尾の1文字のみを除去。

【お知らせとお願い】

加藤 厚先生が、赤心を推して人の腹中に置くがごときご厚情により、わたくしの仕事の一部をインターネット上に公開していただきました。リンク名は <http://mmua.html.xdomain.jp/nakabepu/> です。ゾロアスター教社会およびマヤ・カトリック社会に関する拙論の中から、特に重要とわたくしが考える小論をアップしております。みなさまには、上記のことに関心をお持ちの方と行き逢われたときなどに、お手数でも一言ご紹介いただけるならば幸いです。

資料 48 中別府先生の「退職の挨拶」の末尾部分(2015/03/31)

③""括り (例："連番") を含む data を文字列として扱うには"で括ればOK。